



ならっ子だより



わたしは本を読むのが大好き！
もっといろいろな本を
読みたいなあ。

図書館に行けば、
たくさん本があるよ。
そうそう図書館のこんな話、知ってる？

日本で最も古い図書館

みなさんは、図書館に行ったことがありますか。図書館には、楽しいお話の本や紙芝居、自分で何かを調べたいと思った時に役に立つ本など、たくさんの本が置かれています。

こんなふうに、いろいろな人が本を手にとることができる図書館は、いつ頃からあったと思いますか。

今から1200年余り前、奈良時代の終わりの頃、石上宅嗣という人が自分の家だったところにお寺を建て、そこにたくさんの本を置き、勉強をしたいという人がいれば、自由に本を読めるようにしました。これが、日本で初めての公開図書館である「芸亭」です。



一条高等学校の東側にある標柱

この芸亭があった場所は、現在の一条高等学校（法華寺町）のあたりだと考えられています。奈良の町に日本で最も古い図書館があったのです。

奈良時代の人たちは本を読みながら、どんなことを思っていたのでしょうかね。

しりつとよかん 市立図書館
<http://library.city.nara.nara.jp/>

奈良市には、中央・西部・北部の3つの市立図書館があります。

それぞれの図書館では、絵本の読み聞かせやパネルシアター・手あそび・紙芝居などを行う「お話の会」など、楽しい催しを行っています。

また、奈良の本を集めたコーナーもあって、奈良のことを調べるのにとっても便利です。



中央図書館の「奈良の本」コーナー

しみんだよりに3か月ごとにのっている図書館だよりの名前は「芸亭」です。そこには図書館のいろいろな情報がのっています。みなさんもぜひ、図書館に行ってみてください。

富雄北小学校の巻

紹介

富雄北小学校は、近鉄富雄駅の北側に位置する児童数約800人の大規模校です。学校の周辺には、新しいマンションが立ち並んでいます。今年で創立132年目を迎える歴史と伝統のある学校です。二名・杵築神社の薬師堂で誕生し、昭和8年に現在の所へ移転しました。この時、玄関前にあるクスノキ(写真)も一緒に移植しました。クスノキは、長寿で縁起の良い木と言われています。また、ゆっくり時間をかけ、しっかりと根を張って成長し、長い年月の末に立派な大木になります。同校のクスノキには、子どもたちがいつまでも健康で幸せでありますように、また、日頃から地道な努力を重ねて、将来社会に役立つ大人になつてくれますようにという富雄地域のみなさんの熱い願いがこめられています。

今日も子どもたちは、地域・保護者のみなさんに見守られ、安全・安心な環境の中で、明るく活びのびと学校生活を送っています。



【問合せ】 学校教育課 (☎ 0742 - 34 - 4763)